

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公開番号】特開 2002-349876 (P2002-349876A)
 【公開日】平成 14 年 12 月 4 日 (2002.12.4)
 【出願番号】特願 2002-93475 (P2002-93475)
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 4 C 7/06

F 2 4 C 7/02

【F I】

F 2 4 C 7/06 A

F 2 4 C 7/02 5 3 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 5 日 (2004.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

そして、ユーザは、外装部 2 0 0 に触れることができるため、外装部 2 0 0 が上記の高温にまで加熱される従来の加熱調理装置は、安全性に欠けるという問題を有することになる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

なお、タブ部 7 2 b には、それぞれ孔 7 2 c が設けられている。孔 7 2 c は、発熱部材 7 2 に供給された電力のうち、タブ部 7 2 b を介してベース 7 1 へと供給され、発熱部材 7 2 における発熱に使用されない電力の量を極力少なくするために設けられている。なお、孔 7 2 c の形状は、図 7 に示したものに限定されない。すなわち、孔 7 2 c は、図 8 に示すように、直線状のものが 1 つのタブ部 7 2 b に複数本設けられてもよく、図 9 に示すように、1 つのタブ部 7 2 b に 1 本ずつ設けられてもよく、図 10 に示すように、波線状のものが設けられてもよく、図 11 に示すように、台形状のものが設けられてもよい。